

算数のノートのかき方の指導

1. ノートは、授業を振り返るためのものである。だから、振り返る必要性のあるものがかかれていなければならない。
2. ノートは、教科書の内容を写したものではない。
 - ①「結果」なら教科書に書いてある。→過程を書かせたい。
 - ②「知識・理解・技能」なら教科書に書いてある。
→「知識・理解・技能」を支えている「見方や考え方」を書かせたい。
3. ノート指導は、3年生ぐらいから始めたい。
 - 1・2年生は、ほとんど振り返らないから、メモ感覚でいいと思う。
もちろん、問題をするときは、書き方を統一すべき。特に、計算の書き方など。
4. ノートは、毎回、毎時間チェックが必要である。
そして、きちんと評価すること。「A/B/C」とかノートにかいてやること。
上手にかいているノートは、コピーして掲示するのもよい。(評価の「見える化」)
5. 基本的にノートのかき方は、指導者の意図によって変わるべきである。
 - ・どのようにまとめさせたいのか。
 - ・何をどうかかせたいのか。
 - ・どんな目的でノートを使わせるのか。 など※メモと同じレベルならノート指導は必要ない。
6. ノートにかく内容を決めるとき、場所を決めておくこと。「どこにかくか」
 - ・何行目というように、きちんと線を引いてからかかせること。(ワークシートのようにする。)
7. ノートは、A4 5mm方眼ノートが使いやすい。
8. ノートの内容(書く場所を指定する)
 - ①本時の課題または、問題
 - ②自分の考え
 - ③話し合ったみんなの考え(友達の考え)
 - ④まとめ→過程と結果でまとめる。
 - ⑤振り返り
 - ⑥今日の感想

算数科ノート①授業用

(日付) 今日の課題または、今日の問題

○自分の考えや自分の解答

○友だちの考えや友だちの解答

自分のやり方や考え方とちがうもの

いろいろな考えや解法を知る。

○みんなで話し合ったこと。

(まとめ)

○過程と結果でまとめる。

○見方や考え方に支えられた知識、理解、技能としてまとめる。

(振り返り) 1 ページにおさまらない場合は、次ページにする。

○定着を図る。

○練習問題 等

(感想)

○授業後の感想

算数科ノート②問題用

(計算問題や文章題などをするとき)

○ノートを半分にして、使う。

○筆算の計算問題などは、2問ずつ書き、
つめない。

○練習問題・計算問題・文章題など
をするときは、ノートを別にして
もよい。

※問題をするときは、すべて、別のノートにして
もよい。